

破られた約束

入館
無料

—太平洋戦争下の日系カナダ人—



© Nikkei National Museum and Cultural Centre

会期

令和5年（2023年）11月1日（水）～
令和6年（2024年）2月25日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月・火曜日（祝日にあたる場合は開館、12月18日～1月4日は休館）

主催

滋賀県平和祈念館、
「Broken Promises 破られた約束」日本巡回展示実行委員会

巡回展示のスケジュール等については右下のQRコードから実行委員会のWebサイトをご覧ください ↓



滋賀県平和祈念館 〒527-0157 東近江市下中野町431番地

TEL:0749-46-0300 FAX:0749-46-0350 Mail:heiwa@pref.shiga.lg.jp



破られた約束—太平洋戦争下の日系カナダ人—

太平洋戦争（第二次世界大戦）当時、カナダには日本から移住した約2万3000人の人々が暮らしていました。1942年（昭和17年）、カナダ政府は2万人以上の日系カナダ人をブリティッシュ・コロンビア州沿岸部から強制的に立ち退かせました。立ち退かされた人々は、内陸部の強制収容所やカナダ中部の砂糖大根農場、東部の捕虜収容所などに移動させられ、西海岸に残した財産はカナダ政府が保護すると約束しました。ところがカナダ政府はその後、預かった財産をすべて本人の同意なく安価で売却し、日系人は財産を根こそぎ奪われたのでした。

カナダには和歌山県、広島県などからも多くの日本人が移住しましたが、最も多かったのは滋賀県出身者でした。主に現在の彦根市域などから移住し、製材業や伐採業、貿易やさまざまなビジネスを営みながら、日系コミュニティを形成しました。

今回の展示では、日本とカナダの研究者による共同研究で明らかとなった、戦時中の移民たちの体験を紹介します。

期間中の催し物

平和教養講座

参加無料

11月18日(土)

13:30~

「バンクーバー日本町の発展と滋賀県移民」

講師：和泉真澄氏（同志社大学グローバル地域文化学部教授）

12月16日(土)

13:30~

「カナダ移民の歴史継承と次世代育成」

講師：河上幸子氏（京都外国語大学国際貢献学部教授）

1月27日(土)

13:30~

「カナダにおける日系人の戦時強制収容」

講師：原山浩介氏（日本大学法学部教授）

2月17日(土)

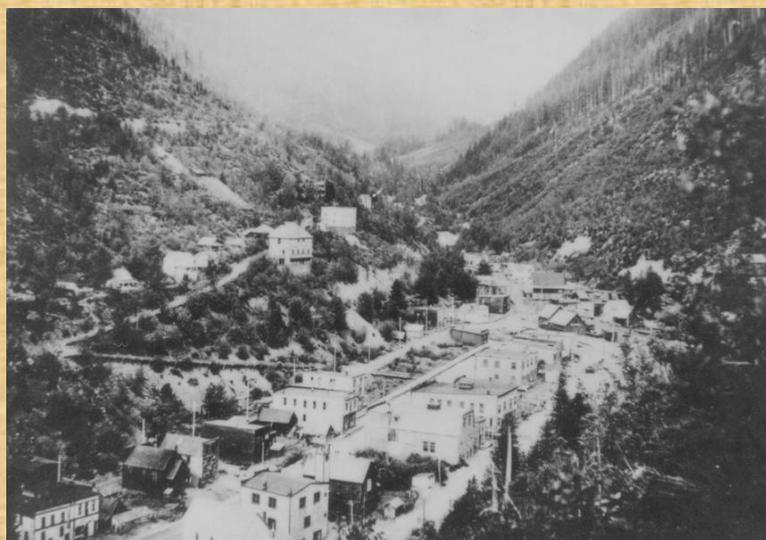
13:30~

「忘れられたカナダ日本人移民史

—ロジャーズ峠に散った鉄道契約移民—

講師：河原典史氏（立命館大学文学部教授）

会場：滋賀県平和祈念館2階研修室 定員：80名（事前申し込み不要、当日先着順受付）



日系カナダ移民たちの収容所があったサンドンの街並み
（写真は個人提供）

